

平成 26 年 8 月

すいか切る七等分に悩みつつ
むずかしいものにすいかのに七等分
風鈴や虫の鳴き声まねて鳴る
打ち水の過剰となりし水溜まり
角部屋の吾を追ひつめる西日かな
もくもくの音たて太る雲の峰
なにもせぬことがほんとの夏休み
怒りつぽい親父のかぶりカンカン帽
これ以後は晴れと予報の残る蟬
夏惜しむ貝の砂粒払ひつつ